

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



認証番号0010833

作成日： 2024年8月9日
改訂日： 2024年12月17日

目次

★環境経営方針	P.1
★組織の概要	P.2
★認証・登録対象組織・活動	P.2
★実施体制図及び役割・責任・権限表	P.3
★主な環境負荷の実績(全体)	P.4
★環境経営目標及びその実績	P.4、5
★環境活動計画及び取組結果とその評価、年次度の取組内容	P.6
★環境関連法等の遵守状況の確認及び評価の結果,並びに違反,訴訟の有無	P.7
★環境上の緊急事態の対応に関する訓練	P.7
★代表者による全体の評価と見直し	P.7
★会社周辺の月次清掃状況	P.8

環境経営方針 ＜環境理念＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 次の事項について環境経営目標・経営計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①電力及び燃料の二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
 - ②廃棄物排出量の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
 - ③水道水使用量の削減(水資源の保全)
 - ④環境に配慮した製品・資材の購入を推進します
 - ⑤施工時の環境配慮を推進します
3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。
4. この環境経営方針は、全従業員に周知・徹底します。

制定日： 2014年4月1日
改定日： 2018年4月1日

三同建設株式会社
代表取締役社長 細川 恵吾

□組織の概要

2024/3/31

(1) 名称及び代表者名

三同建設株式会社

代表取締役社長 細川 恵吾

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市千代崎2丁目15-15

東京支店 東京都中央区新川2-5-2 新川エフビルディング5F

奈良支店 奈良県橿原市曽我町1065-2 セジュール真管202

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 田中 正浩 TEL：06-6584-5528

連絡担当者 尾山 文音 TEL：06-6584-5528

(4) 事業内容

解体工事業、土木工事業

(5) 事業の規模

売上高 86.7 億円 (2023年度)

	本社	東京支店	奈良支店
従業員数	76	23	0
延べ床面積	758.31㎡	303.53㎡	19.39㎡

(6) 事業年度

4月～3月

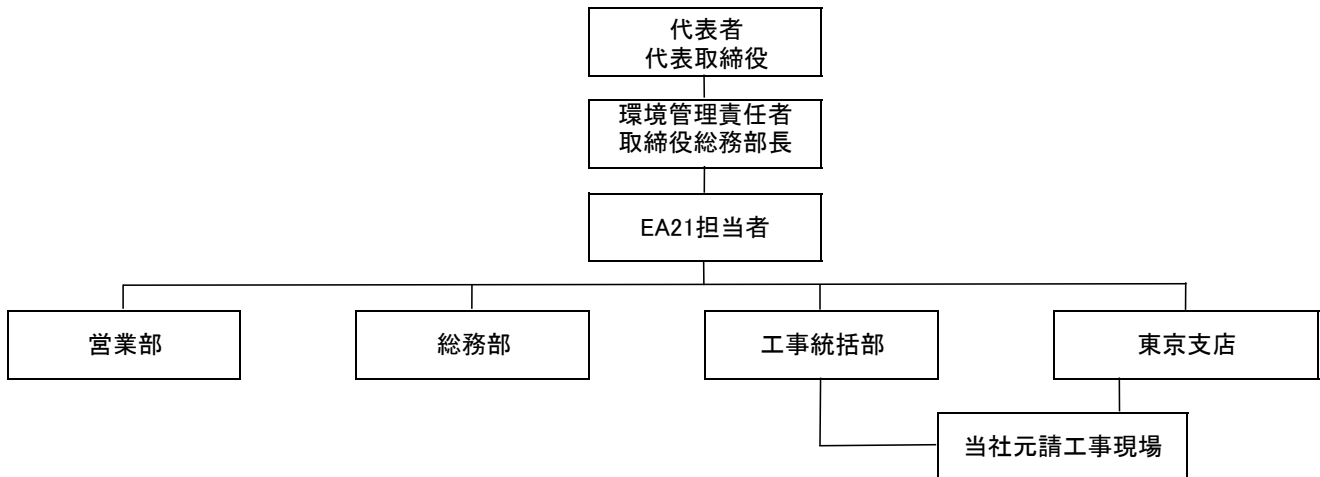
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 三同建設株式会社

サイト： 本社、東京支店、奈良

対象外： 無し

活動： 解体工事業、土木工事業



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告・ ・環境経営レポートの確認
EA21 推進者	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

□主な環境負荷の実績（全社）

項 目	単位	2013年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	191,797	114,993	118,498	124,011
廃棄物排出量					
一般廃棄物量排出量	kg	882	878	771	810
産業廃棄物排出量	トン	354	28,943	32,335	32,336
水使用量	m ³	11,562	24,854	27,727	22,520

※電力の二酸化炭素排出係数：0.493kg-CO₂/kWh、2016年度、関西電力会社、調整後

※二酸化炭素総排出量：都市ガス（事務所給湯用）を含む。

※産業廃棄物量：2013年度は本社・現場のみ。

2021年度以降は事務所（全社）と現場（元請け）の合計。

□環境経営目標及びその実績

（1）全社

項 目		基 準 年 (2013年)	2023年		2024年	2025年
		(基準)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年比	56,288 —	50,097 89%	36,098 64%	35,462 63%	34,899 62%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年比	131,799 —	98,839 77%	87,831 67%	57,648 68%	56,801 67%
発電用燃料（軽油）の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年比	(基準) —	3,381 86%	0 0%	— 注1	— 注1
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	188,087	152,317	123,929	93,110	91,700
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	882 —	794 90%	810 92%	803 91%	794 90%
産業廃棄物削減 再生資源化率 (現場)	% 基準年比	94.0% —	95.0% —	97.3% —	95.0% —	95.5% —
節水 注2	m ³ 基準年比	11,436 —	11,275 99%	22,520 197%	9,905 87%	9,905 87%
近隣への環境配慮	—	—	事務所欄・ 現場欄を参 照	事務所欄・ 現場欄を参 照	事務所欄・ 現場欄を参 照	事務所欄・ 現場欄を参 照
<参考> 産業廃棄物 全社・排出量 注3	t	354 —	— —	32,336 91.3倍	— —	— —

注1：発電機自体の使用量を中止したため2024年度より目標より除外する。

注2：事務所（東京）は集合メーターのため実績に含まれていない。

注3：参考データ 削減目標ではない。

(2) 事務所（全社）

年 度 項 目		基準年 (2013年)	2023年		2024年	2025年
		(基準)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	56,288 —	50,097 89%	36,098 64%	35,462 63%	34,899 62%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	37,033 —	32,589 88%	22,090 60%	28,620 87%	22,040 86%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	93,321	53,986	58,188	64,082	56,939
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	882 —	794 90%	810 92%	794 90%	794 90%
節水	m ³ 基準年比	166 —	100 60%	416 251%	100 60%	100 60%
近隣への環境配慮 (環境に配慮した施工計画の作成・作成率100%順守)	—	100%	100%	100%	100%	100%

産業廃棄物：事務所（本社、東京支店）からの発生は2021年度以降はなし

※節水：本社事務所のみの数値。東京支店事務所ではテナント全体の集合メーターのため計測不可。

(3) 現場（全社）

年 度 項 目		基準年 (2013年)	2023年		2024年	2025年
		(基準)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	94,766 —	75,812 80%	65,740 69%	51,881 55%	51,881 55%
発電用燃料の二酸化炭素排出量削減 注1	kg-CO2 基準年比	3,931 —	315 8%	0 0%	— —	— —
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	98,697	76,127	65,740	51,881	51,881
節水	m ³ 基準年比	11,270 —	9,805 87%	22,104 196%	9,805 87%	9,805 87%
近隣への環境配慮 (低騒音・低振動型重機の完全使用) 注2	—	100%	100%	100%	100%	100%

注1：発電機自体の使用量中止したため、2024年度以降は目標より除外。

注2：数値による目標設定が困難な為、点数をつけて平均評点として評価。

口環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 事務所(全社)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎		
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	△	継続	目標達成。東京支店の電力を新たにカウンタ カウントしたが、消灯等のこまめな確認が功を 奏した。 消灯等のこまめな確認と目標見直しを実施す る。
・不要照明の消灯	○	継続	
・不要時のPC電源OFF	◎	継続	
・クールビズ、ウォームビズの推奨	◎	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎		
・エコドライブの実践	◎	継続	目標達成。 公共交通機関を積極的に使用したことで、達成 できた。この数値を継続出来るようにします。
・積載オーバーをしない	◎	継続	
・適正な車両整備	◎	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	×		
・分別の徹底	○	継続	目標未達成。各々、ゴミの分別を意識していた が、内勤者の増加によって数値目標は達成でき なかった。引き続きエコ活動を継続します。
・重量把握	◎	継続	
節水			
数値目標	×		
・節水シールの貼り付け	○	継続	目標未達成。本社トイレ配管故障により漏水し ていた事が原因だと考えています。次回は目標 達成出来るように、委員からの啓発も増やして 行きます。
・手洗い時、洗い物における日常的な節水の 励行	○	継続	
近隣への環境配慮			
・環境に配慮を行った施工計画書の作成	◎	継続	目標達成。環境に配慮した施工計画書作成に心 掛け、作成率100%を目指します。

(2) 現場(全社)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評 価（結果と次年度の取組内容）
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎		
・エコドライブの実践	○	継続	目標達成。社用車も増加しているが、ハイブリッド車採用やエコドライブの啓発実施で、良い結果となった。 東京支店のガソリン使用量が増加傾向でエコ運転を強化します。
・積載オーバーをしない	◎	継続	
・適正な車両整備	◎	継続	
発電用燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎		目標達成。電気の引き込みを積極的に推進した為、使用を中止しました。次年度から目標化を止めます。
・不要時の停止	◎		
産業廃棄物再生資源化率			
数値目標	◎		目標達成。再資源化可能産廃を確実に分別し、環境に悪くない現場運営を行えました。確実な分別に心掛ける。
・分別の徹底と資源化率把握	◎	継続	
産業廃棄物削減努力			
数値目標	—		目標は設定していませんが、現場数の増加のため増加傾向だが、現場の担当の一層の意識向上を努力目標とします。
・発生量の抑制	◎	継続	
節水			
数値目標	×		目標未達成。現場の増加や近隣対策として散水台数を追加した事が原因と推測します。節水努力に心がけます。
・無駄な使用を無くす	△	継続	
近隣への環境配慮			
・低騒音・低振動型の重機の完全使用	◎	継続	目標達成。 低騒音・低振動型の重機の完全使用を継続して行う。

□環境関連法等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。 (全社)

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法・振動規制法	特定建設作業
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業、石綿排出等作業
厚生労働省・通知	石綿等の運搬又は貯蔵を行う際の容器・包装、当該容器等への表示、保管の状況等
オフロード法	重機（バックホウ、ブルドーザー、フォークリフト）
フロロ排出抑制法	業務用空調機、重機
建設リサイクル法	解体工事、土木工事
家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□環境上の緊急事態の対応に関する訓練

本社と現場：において、避難訓練を実施しました。
喫煙スペースのたばこの不始末からのぼやの発生を想定し、防災管理者や周知担当者の確認、手順の確認等を行い
手順の修正は必要なかった。
東京支店：事務所ビルにテナントとして入っている為、ビル全体で避難訓練が実施されていて参加しました。

□代表者による全体の評価と見直し

2023年はコロナウイルスの影響はほとんどなくなり、営業活動も活発になりました。
そのため、現場の増加と従業員の増加で水道、電気使用量の増加に繋がりました。
東京支店の事務所を移転したが、前事務所では電気使用量は計測不可であったが、計測可能となり増加した。
また、東京支店は営業エリアの拡大にも力を入れておりガソリンの使用量増加に繋がりました。
今後どちらも増加が見込まれますので目標値を修正し、新しい従業員にもエコ活動の周知徹底や指導を進め全社員で目標達成ができるように取り組んでいきます。
2024年度も継続して委員会メンバーを中心にエコ活動の啓発に努めたいと思います。

- 環境経営方針

○環境経営目標・環境経営計画

○実施体制
- 変更必要なし

□変更必要なし

■変更必要なし
- 変更必要あり

■変更必要あり

□変更必要あり

見直し実施日：2024年5月24日
実施者：代表取締役 細川 恵吾

口会社周辺の月次清掃状況
～ 当社では毎月月末頃に会社周辺の清掃活動を行っています ～

